

第8回 日本予防理学療法学会

サテライト集会 in Fukushima

災害と**循環器病**に対する予防理学療法の可能性
～世界を考え、地域で行動する～

会期

2024年

6月1日 土

対面開催
+
アーカイブ配信

集会長

柴 喜崇

福島県立医科大学 保健科学部 理学療法学科



準備委員長

遠藤 康裕

福島県立医科大学 保健科学部 理学療法学科



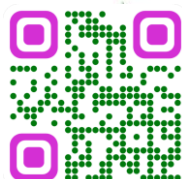
会場

福島県立医科大学
駅前キャンパス
(福島駅から徒歩5分)

参加費 (事前登録のみ)

PT協会会員	3,000円
非会員 (PT, PT以外)	5,000円
学生	無料

大会HP



演題募集 (ポスター演題のみ)

2023年10月20日
～11月24日

【お問い合わせ】 福島県立医科大学保健科学部理学療法学科 遠藤康裕 佐藤聡見
E-mail : 8thjsptpsatellite@gmail.com





プログラム



シンポジウム1 循環器病に対する予防理学療法の可能性

座長：解良武士（高崎健康福祉大学）・佐藤聡見（福島県立医科大学）

1. 「生活習慣病からの循環器病予防における理学療法の可能性～総論～」
齋藤正和（順天堂大学）
2. 「医療機関としての循環器病予防対策の実際と課題～3次予防～」
笹本雄一郎（太田西ノ内病院）
3. 「特定検診・特定保健指導における取り組みの実際と課題～2次予防～」
岡崎可奈子（福島県立医科大学）
4. 「モバイルヘルスを活用した生活習慣病予防の実際と課題～1次予防～」
三木貴弘（（株）PREVENT）

総合討論（リアルタイムアンケート、課題解決型ディスカッション）

司会者：舟見敬成（福島県理学療法士会会長）

登壇者：調整中（循環器病対策担当者：県地域医療課及び健康づくり推進課）、シンポジスト

シンポジウム2 災害に対する予防理学療法の可能性

座長：西川正一郎（葛城病院）・池田登顕（山形大学）

1. 「東日本大震災後および東京電力福島第一原子力発電所事故被災地における地域医療の課題」
小野田修一（南相馬市立総合病院）
2. 「東日本大震災後の被災者における生活環境およびその生活習慣への影響」
森山信彰（福島県立医科大学）
3. 「被災自治体の高齢者の二次的健康影響」
玉根幸恵（相双保健福祉事務所いわき支部）
4. 「被害軽減のための平時からの備え（ソーシャル・キャピタルと防災）」
野口泰司（国立長寿医療研究センター）

総合討論（リアルタイムアンケート、課題解決型ディスカッション）

司会者：西川正一郎（葛城病院）・池田登顕（山形大学）

登壇者：金成由美子（福島県保健福祉部感染症対策課）

玉根幸恵（相双保健福祉事務所いわき支部）、シンポジスト

教育講演

「災害後の循環器病リスクに対する予防医学の貢献」

講師 大平哲也（福島県立医科大学医学部疫学講座）

司会 大淵修一（東京都健康長寿医療センター研究所）

